京都労山

2023年12月号

No. 366 ^{発行日} 2023年11月20日

【ホームページアドレス】 http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan 【E メールアドレス】Kyoto-waf@dab.hi-ho.ne.jp



京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。



12 月号目次

*	六つの合い言葉・目次
*	ステップアップ 教育遭難対策委員会・・・・・・・・・・・0 1
*	事務局長会議報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・0 2
*	各会代表者会議の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0 3
*	2023 年冬山連絡会の案内・・・・・・・・・・・・・・・・ 0 4
*	遭難者捜索訓練の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*	積雪期搬出訓練の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0 6
*	大阪労山救助隊ココヘリとドローン捜索訓練の報告・・・・・・・・07
*	女性委員会山登り講座の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・0 8
*	クライミング委員会山行報告・・・・・・・・・・・・・・・ 0 9
*	連盟交流会と収支の報告・・・・・・・・・・・・・・・ 1 4
*	連盟交流会・交流山行の報告・・・・・・・・・・・・・ 1 7
*	大文字山登山道整備の案内・・・・・・・・・・・・・・20
*	大文字山登山道整備の報告・・・・・・・・・・・・・・・2 1
*	会計からのお願い・・・・・・・・・・・・・・・・・23
*	連載企画・日本二百名山登頂シリーズ第38回 飯縄山・・・・・・・24
*	12 月号の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・2 5
*	連盟月間予定表「カレンダー」・・・・・・・・・・・・・裏表紙

<u>ステップ アップ</u>

内なる悩み

教育遭難対策 山下 建男

2023年、京都連盟救助隊は解散することが救助隊総会で承認されました。救助 隊解散に伴い新たな救助隊創設と合せて教育遭難対策委員会の改編も検討されていま す。

教育遭難対策委員会が全力投球で取り組んできた「初球登山学校」は2023年度に第15回初級登山学校を終了しました。コロナ過で3年を費やしたこともありましたがほぼ2年に一度の開催で都合15回、30年が過ぎました。救助隊解散の要因とも言える「救助隊事務局」の疲弊は長年苦労を重ねてきた「初級登山学校」にも当てはまります。初級登山学校を机上、実技で支えていただいた講師の皆さんも実は「高齢化」の波にもまれて疲れが蓄積しています。事務局(教育遭難対策委員会)は各会派からの派遣ですので何代か代代わりを済ませています。しかし、机上・実技講師の皆さんは理論や知識、技術を人から人へ移すことはなかなか出来ないため講師のやりくりが出来ず疲弊してきています。「技術部門:山行」については登山学校創設講師から徐々にではありますが何とか代替わりが少しだけ出来ています。しかし、「理論:机上」になるとそうは容易く人から人への移譲が出来ません。専門分野に等しい机上講師は思うように講師交代が出来ません、それだけに毎回初級登山学校が計画される時は「三願の礼」をもって「是非お願いします」、「何とかお願いします」と。もし予定の講師に「時間が取れない」と言われればその先は真っ暗です。

ではこれから先のこと見据えて「改革」を唱えるべきかそれともスケジュールを消していってスリムな初級登山学校にすべきか(せざるを得ない)悩むところです。実技講師については世代交代が徐々に進んでいますが世代交代を進める一つの手段として「初級登山学校終了生より講師補助生を募」プランを進めています。ただ容易く技術を身につけることが出来ないために即席で技術補助講師を決めることも出来ません。実に悩ましい事です。長い歴史は尊重しなければなりませんがその重みに押しつぶされそうになってきています。「思い切ってやめる」などの意見を出そうものなら非難囂々でしょう。初級登山学校は進むことも引き返すことも出来ない「ハムレット」の境地です。

事務局長会議報告 (各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催)

11月度会議:11月7日(火)WEB会議 出席8労山 報告のみ (明峯)

- ・出席は、洛中、亀岡、西山、伏見、左京、やましな、乙訓、右京 連盟から2人
- 各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]
- ・[右京] < 例会 > 10/18 西山トレイル② 6 人,29 武奈ヶ岳 8 人 < 予定 > 11/19 余呉 湖・賤ケ岳.26 紅葉の大文字山 < その他 > 11/22 山の集い「1~3月山行計画」
- ・[やましな] < 例会 > 10/7 バスハイクトレ比叡山 14 人,21~24 安達太良山・一切経山 8 人 < 予定 > 11/26 焼杉山(読図と緊急時対応),28 三上山 < その他 > 11/3 ~4 公開バスハイク会員 29+一般 4 人福地山と温泉 23 人,上高地散策、コロナ罹患有
- ・**[西山] < 例会 >** 10/1 公開バスハイク青葉山 20 人,21~22 特別山行あうる京北 59 人**<予定 >** 11 月 19日5コース集中登山西山キャンプ場救急法(三角巾を学習),26 唐櫃越,29 談山神社~飛鳥駅**<その他>** 11 月 25 日(土)第38回総会を開催
- ・[左京] < 例会 > 10/18 関ケ原,史跡 11 人 < 予定 > 11/5 ~ 6 淡路島南あわじ休暇村 (テント) + 沼島 < その他 > 10/25 ミーティング「搬出訓練+山岳事故について」
- ・[乙訓] <例会>14 鈴鹿鎌ケ岳 9 人,24 奥池〜甲山 9 人,27〜29 大分由布岳 7 人, <予定>11/3〜5 北陸三百名山医王山他,11 岩籠山,18 峰床山、23 中山連山<その 他>10 月 22 日六甲岩場歩き「山羊戸渡」で転倒による骨折事故、救急車対応
- ・[洛中] < 例会 > 10/7 摩耶山 10 人、15 比良釈迦岳 11 人、27~28 下の廊下 5 人、
- <予定>11/19 交流ハイク松尾山~沓掛山,26 アイゼントレ白坂<その他>初級学校の卒業生で若手の参加が目立つ、12 月の龍の小屋での納山祭も若手中心。
- ・【伏見】<例会>10/29 皆子山読図 12 人<予定>11/12 公開山行星田山読図,26 比良滝山<その他>新しい人の入会増える、会員からの呼びかけと会の雰囲気が良い
- ・[**亀岡**] 30 周年白川郷バスハイク。17人参加予定。記念のTシャツ作成。
- ・[明**峯**] < 例会 > 10/7 読図教室(公開)机上 18+2人,8 読図実技嵐山駅〜烏ケ岳〜松 尾山〜上桂駅 16+2 < 予定 > 11/19 中級鈴鹿イブネ,23 北山分水嶺シリーズタカセ

連盟の取り組み、活動報告 (連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告)

- ・10月 14~15 日京都連盟交流会。「あうる京北」右京、樹の根、Lantan が担当。 参加山の会 14、宿泊 48人、講演のみ 12人、山行のみ4人。コロナ罹患者発生。
- ・救助隊再構築関連。準備会 10 月 2,16,11 月 6 日 3 回。来年 3 月以降の新しい遭対部の在り方を協議。10 月 30 日緊急重要連絡メール。①12 月 8 日 WEB 開催の代表者会議。参加者名 11 月 26 日迄に報告②11 月 25,26 日の遭難捜索訓練(一般参加可)
- ・全国連盟から文書 ①栄誉功労賞、永年会員章の贈与について。12月31日期限 ②11月末組織数の報告。各会・クラブから京都連盟事務局まで。12月15日期限。 次回12月5日(火)事務局長会議pm7時半開始はWEBのみで開催します。

<代表者会議開催のご案内>

京都府勤労者山岳連盟 理事長 坪山芳樹

前略いつもお世話になり誠にありがとうございます。

今年9月の旧救助隊解散後、救助隊再構築準備会において、当面の活動と来年3月以降の新組織の中身を協議しています。準備会では、旧救助隊解散の理由と新救助隊の必要性、来年3月に設立予定の遭難対策部の目指す活動内容が、各会での理解が未だ十分でないと考えており、これらを説明し意見をお聞きするため、緊急に代表者会議開催することに至りました。各会から代表者クラス(会長・運営委員長・事務局長等)の参加をお願いします。

記

日 時:2023年12月8日(金) 19時30分より WEB専用

対 象:各会・クラブから代表者1名

参 加:11月26日(日)までに参加者からメールでお知らせください。

連絡先メールアドレスは、zrxshock@yahoo.co.jp

(この間の経過)

4月より救助隊再構築検討委員会(6回)を開催。

6月26日 「救助隊解散後、新たな救助組織を再構築するための答申」

8月8日 北部連絡会

8月30日 第2回理事会

9月12日 救助隊臨時総会で解散承認

9月25日 常任理事会で救助隊解散承認

10月2日 第1回救助隊再構築準備会

旧救助隊事務局員の高齢化と世代交代が上手くできなかったことが、解散に至った主因であります。しかし、救助隊が京都労山において安全登山を担保する重要な組織であることは明らかであり、新たに持続可能な組織を確立するためには、各会からの支えが不可欠です。来年3月発足にむけ準備している遭難対策部に各会から1名の部員の派遣に協力いただくようお願いしているところです。この間の経過と今後の労山の遭難対策をどうすすめるのかを説明させていただき、各会からご意見をいただきたいと思いますので、積極的なご参加をよろしくお願いします。

2023 年 冬山連絡会のご案内

教育遭難対策委員会

コロナ禍が明け、山小屋のオーバーユースが続き予約が取りにくい状況の中、雪山シーズンを迎えました。

今年も恒例になっています「雪山連絡会」を下記の日程で開催いたします。 開催にあたり、今年度は従来通りの対面集会方式に開催方法を戻します。 各会には、雪山にチャレンジ、雪山を少し体験したい等色々な山行が有るか と思います。是非そのような山行計画を紹介していただいて雪山山行につい て意見を交わしたいと思います。

山行計画については日程や山域程度で詳細がまだ煮詰まっていない企画で も結構です。是非ご提案・ご参加をお願いします。

提案・参加資格はありません。連盟各会・クラブ山行だけでなく、青年委員会、女性委員会や冬山勉強会等の山行企画も是非お寄せください。 参加希望者の皆さんには山行企画を事前に配信します。

記

日 時:2023年12月15日(金)19:30~21:00

場 所:連盟事務所2階(対面集会方式)

山行企画:12月7日(木)までに下記アドレスに送信

参加希望:12月7日(木)までに下記アドレスに申込

送信先アドレス:山下:yamasansan326@gmail.com

常任理事会・救助隊再構築準備会合同遭難捜索救助訓練のご案内

2023. 10. 23

常任理事会·救助隊再構築築準備会

常任理事会・救助隊合同遭難捜索救助訓練は本年度で8回目になります。今回、9月に 旧救助隊が解散したもとで、救助活動の空白をなくし技術を継続向上させるため、 救助隊再構築準備会と常任理事会が合同で企画しました。

山の仲間の遭難を防止し、万一の場合の捜索救助活動に対応するため、3月連盟総会で 遭難対策部を発足させ、その下で新救助隊をスタートさせ、新救助隊員の募集・登録も今 後すすめます。

今回の訓練は旧救助隊員が中心となりますが、各会からも「山の仲間を遭難から守る」 活動への理解と関心を持っていただき、参加・協力を呼かけていただきますようお願いします。

昨年は大文字山で遭難した2人パーティーの捜索救助を「京都府勤労者山岳連盟遭難捜索救助ガイドライン」に則って実施しましたが、見つけ出すことは出来ませんでした。

今回は、新しく遭難者から現在地の緯度経度知らせてもらうことへの対応の実践、ココ ヘリ子機/ヒトココ親機も捜索には活用し、今年こそ組織として遭難者を捜索して救助で きるよう下記の要領で取り組みます。

記

- 1. 訓練日 2023 年 11 月 25 日 (十) 11 月 26 日 (日) 雨天決行
- 2. 遭難場所 近郊の山(11月25日夜に遭難場所/集合場所時間を連絡)
- 3. 日程 11月25日(土)

夕方:常任理事会・準備会から旧救助隊員に「遭難事故発生、遭難対策本部を開きます。旧救助隊員は○時○分に連盟事務所に来て下さい」等と旧救助隊一斉メールを送ります。

都合のつく方は連盟事務所に来て下さい。

遭難対策本部に来ることが出来なくても、翌日の捜索救助には 参加できる方はその旨を返信して下さい。

夜:連盟事務所で遭難対策本部設置 捜索救助方法の詳細を話し合い、詳細が決まれば、11月25日 夜に参加者に連絡を入れる。

11月26日(日)早朝より現地出動 捜索救助実施

発見したら、応急処置後必要に応じてロープを使用して、引き 下ろし引き上げも行います。

※現地捜索に参加される方は、ヘルメット必携です。

4. その他 各会の参加希望者は、11 月 18 日までに kyoto. rosan@gmail. com へ連絡してください。(メール等で詳細を連絡します。)

京都労山 積 雪 期 搬 出 訓 練 の案内

実施日: 2024年1月28日(日) 降雪、雨天、積雪なしでも決行

対象者: 雪山ハイキングや雪山縦走に参加されている方、参加しようと思っている方

受付: イン谷口トイレ前広場 9時00分 開始; 9時30分 解散:15時00分

場 所: 正面谷周辺

内容: ビーコン, ブローブ 訓練、負傷者の梱包、堂満第2ルンゼからの搬送

持ち物: 積雪期の日帰り個人装備 ビーコン,シャベル、プローブ,ヘルメット、ハー

ネス等必要な登攀用具 (原則,アイゼンは使いません)

ビーコンやプローブ、シャベル、ハーネス、登攀装備を持っていなくて も参加可能です。(ビーコン、プローブ訓練の時は見学だけでも勉強に

なります)他、感染予防具

締め切り: 2023 年 1 月 8 日 (月)

各会にて参加者の集約をし、申込書を1月8日までに、救助隊再構築準

備会代表 坪山までメールにて送付下さい(zrxshock@yahoo.co.jp)

その他: 当日の参加者の緊急連絡先(留守宅) は各会で把握して下さい。

: 発熱や咳など、体調不良の方は参加ご遠慮ください。

近畿ブロック搬出講習会の予定——多分、実施します。

1. 日程:2023 年 4 月 7 日(日) (担当)

2. 場所:岩・尾根班・・・兵庫県の百丈岩周辺

ハイキング班

初級コンパニオンレスキュ一班・・・大文字山安祥寺林道入り口付近

大阪府連救助隊ココヘリドローン捜索訓練に参加して

やましな山の会:青山郁夫

11月11日にJR 道場駅の北東の千刈ダム周辺で行われた大阪府連救助隊主催のココヘリとドローンを使った捜索訓練に参加しました。参加者は大阪を始め兵庫、奈良、和歌山、京都からは私たち夫婦とスタッフで丹後の川端さん3人と全部で実に67名でびっくりしました。

ココヘリは、2014年に販売が開始され、現在の日本では遭難者の居場所を電波を使って 捜索する側が「探し出せる」唯一の手段です。 ココヘリの会員数は現在約 15 万人です。 (2023 年 11 月ココヘリ HP より)。

オーセンティック (ココヘリの会社) の方からココヘリの説明の後、ドローンを飛ばし ココヘリ子機の捜索を行い、受講生は 12 班に分かれドローンが確認したココヘリ子機の 緯度経度とヒトココ親機で山の中を歩いてココヘリ子機を探す訓練を行いました。

ココヘリに加入して 10 年になりますが普段携帯している子機がドローン (本番はヘリやセスナも出動します) によってどのように捜索され発見に至るのかを 実際に見ることが出来て大変良かったです。きっと、現在、ココヘリに加入されていない受講生の方もココヘリの有用性を知っていただけたかと思います。(以上の文書は大部分、訓練案内文書を使いました)

今回の訓練ではドローンで子機の緯度経度も確認できることが分りました。当然、空から確認するので誤差はありますが通常誤差は300m程度でパイロットの力量でさらに精度が高くなるそうです。今回の訓練では約24個の子機発見誤差は最大100m、最短20mと驚くほどの正確さでした。私たちの班もドローンで確認した緯度経度付近に子機があるのを発見しました。また、もう一つの成果はスマホアプリのジオグラフィカ(https://geographica.biz/)をインストールして指定の緯度経度をナビの地図に表示させる方法を教えてもらったことです。今度の京都の遭難捜索救助訓練このアプリを使ってほしいと思います。

最後にココヘリの宣伝です(宣伝料はもらっていません)。ネットで見たらこれまでに (2023年10月) ココヘリで遭難者発見28件、未発見5件(不携帯2件、電源切り2件、不明1件)3時間以内に86%発見。6時間以内に98%発見。生存で発見48%。遺体で発見52%、と予想以上の成果を上げています。ココヘリは山岳関係の個人賠償保険もセットされています。自身の遭難対策として、生きて家族の元に帰るために、不幸に死んでも行方不明で家族に迷惑をかけないために、是非、ココヘリに加入してもらいたいと思います。

女性のための山登り講座 実技3修了山行 赤坂山報告

記:三橋順子

【山行日】 2023年11月5日(日)

【天気】 晴れ

【参加者】 受講生8名 女性委員4名 合計12名

女性委員 CL 三橋(右京)・SL 進藤(洛中)・平田(樹の根)・小室(乙訓)

【コースタイム】

赤坂山登山口9:50 武奈の木平10:50 栗柄越11:55(昼食)昼食後出

発12:25 赤坂山12:40 栗柄越13:10 武奈の木平14:10

赤坂山登山口15:15

【報告】

連日好天が続き最高のコンディションでの山行となりました。10 月1日の予定が 雨天でひと月伸びましたが、受講生の皆さんは楽しみに待っていただけました。

登山口からの急登はゆっくりと、青空と紅葉を鑑賞し、前後の人とのおしゃべりも 交えて順調に登って行きました。深緑のイワカガミと紅葉したコアジサイの葉が登山 道の両脇にあり、春の花の時期が最高だと話が出ていました。赤坂山山頂では時折風 に吹かれ、360度の景色を堪能しました。下りも慎重に進み無事に予定どおり下山 できました。

今回の講座の受講生の皆さんは元気で明るくて仲良くて、素晴らしい人たちの集まりでした。労山の各会の紹介もしました。これからも山を楽しみ、山登りを続けてくださいねと願いました。全員が楽しめた山行でした。



クライミング委員会山行 報告

≪伊藤新道≫ 記:岩根・内野・青山

日:9月28日(木)~10月2日(月) 晴れ→ガス→強風雨→晴れ

メンバー:青山大(やましな)、内野(洛中)、岩根(左京)

2015年9月伊藤新道を遡った。旧第三吊り橋跡の渡渉に恐怖を感じ、スクラムで対岸に渡るパーティーを見送り、敗退。基部の岩には「引き返す勇気」とペイントがあった。昨年伊藤新道が整備されると聞き、その前にと計画するが、天気が悪く中止。そして今年、クライミング委員会で臨む。

28日夜発、七倉で仮眠。翌朝タクシーでダム湖へ。湖岸を辿り湯俣に着く。今年再開の湯俣山荘に届を出し、水俣川・湯俣川二股から入渓。河原に注ぐ水がブクブクと沸騰している! 沢を渡り硫黄の噴湯丘を見に行く、その隣の硫黄尾根は赤茶けた火山帯だ。両側に迫る壁、本流を登っている実感、ワクワクが止まらない。湯俣ブルーの沢を進みポイントを見極めながら渡渉を繰り返すが、水圧は多少あるものの水量は少なく腰まで濡れることはない。

湯俣川(伊藤新道)には、安全のため吊り橋を3本新設(昔は5本あった)、一部の岩場に桟道、ガンダム岩にはステップが設置してある。前回敗退した所には2つ目の吊り橋(第三吊り橋)。しかしこの核心も難なく渡渉、これは拍子抜けで残念だった。水量が少ないと平凡な沢になる。結局、どの人工物もそれに頼ることなく、渡渉・遡行ができた。





両岸の荒れた山肌を見ながら、物足りない渡渉と単調な河原歩きやゴーロ歩きが続く。14時過ぎ、3つ目の吊り橋(第五吊り橋)着。野湯(温泉)の偵察は明日に回し、砂場にテントを張って最後の一仕事。焚火で至福の夜。

イイ感じに出来上がったタイミングで、ゴロゴロと言う音、異様な雰囲気に 気付く。沢を見に行くと、湯俣ブルーが灰色に増水、湯気が立ち込め冷たかっ た湯俣川が温かい。マップに書いてある「噴気口(ときどき爆発)」の"ときどき"である。今回のその規模がどれくらいか全く分からないので、急遽テント撤収。ヘッ電をつけ、登山道を示す〇印を探しながら慎重に急なザレ道・痩せ尾根を登り〔茶屋(建物はない)〕に避難幕営。硫黄谷に噴煙を見る。

翌30日、もう噴煙は見えない。赤沢から湯俣川まで下り、野湯を探す。赤沢を登り返し、迷いやすい所にある目印を確認、樹林帯へ。激登りを終えると、「展望台」からは硫黄尾根とその後ろにいつもと違う槍ヶ岳、北鎌尾根のスカ

イラインが見える。

[庭園]までは登り、その後は鷲羽岳の中腹を長々とトラバースして三俣山荘に着く。湯俣山荘で言われた通りに伊藤新道から来たことを伝え、一番乗りのテント場へ。どど〜んと鷲羽岳が見えるいい所にテントを張ったが、残念ながら徐々に雲が下りてきていて山頂はすでに白い。



鷲羽岳か三俣蓮華岳のどちらに登ろうか検討するも、午後3時からは雨予報で景色も全く期待できないため、三俣蓮華岳に登って3県(岐阜県、富山県、長野県)をまたがってみることに。途中、まるまるとした雷鳥6羽を発見し、思った以上に疲れている足を叱咤しながら山頂へ。3つの三角点をパシャリとして早々にテント場へ戻り、伊藤新道完登を祝う ※しかしもっと困りたかったというのが本音だ。

明日の天気は、午前は雨で午後から回復なので、早く出て、早く湯俣について、温泉掘っちゃう予定をたて就寝。夜中間、結構な雨の音が続いて寝れたような寝れてないような…。

1日。天気は午後からも雨予報に変わっていて、結局、6:40に出発。黒部源流から岩苔乗越経由の水晶小屋ルートの方が風の影響も少なく時間も短いが、せっかくなので鷲羽岳に登る。何も見えない中、風と雨の冷たさに耐えつつ黙々と歩く。止まると寒いので山頂で写真を撮る以外は休憩することもなく水晶小屋まで唯々黙々と歩く。水晶小屋外のベンチをかりて一息つくも寒い。取りあえず寒い。

雨は止んだものの稜線上の風はきついままで、周りも白いままで、今日はず

っと辛いままかとショボショボ気分で足を進めていたが、東沢乗越を過ぎた辺りから少しずつ天気が回復。斜面の紅葉も見えるようになると当然テンションが上がり、「素晴らしい!」と何度も叫ぶ。赤牛岳から続く読売新道と裏銀座の稜線もきれいに見える!素晴らしい!

13:30、南真砂岳。ここから湯俣岳への間は、紅葉も見ごたえがある上に、 槍から燕岳へと続く稜線が前方に見え、これまた「素晴らしい!」を連呼しながら進む。最後の湯俣岳を登り、激下りに耐え湯俣温泉 晴嵐荘へ。膝の調子もあり、到着が少し遅くなったが無事テント受付をし、いそいそとビールを購入しお疲れ乾杯!! 残念ながら、自分で掘る温泉は時間的に無理なので、晴嵐荘の温泉(1000円)へ。とてもいい湯でした。





最終日。のんびり朝ご飯を食べて出発。高瀬川を渡るアクティビティを楽しんだ後は、今回の思い出話やこれからの妄想山行・暴走山行の話をしながらダムまで。七倉まで歩いて降りる案もあったけど、せっかくなのでレトロな公衆電話のダイヤルを回して、伊藤新道山行を終えた。







公開クライミング ≪落合の岩場≫ 記:青山

日:10月29日(日)晴れ

参加者:川端(丹後)、大槻(右京)、辻(舞鶴山)、高岩(Lantan)、河合(やましな)

クライミング委員:坪山(明峰)、岩根(左京)、杉島(Lantan)、

内野(洛中)、林(らくなん)、青山(やましな)

朝、亀岡方面ではそこそこの雨が、でも予定通りに実施。保津峡駅のアスファルトは湿っていたけれど、岩場はカラカラに乾いていて良いコンディションだった。自己紹介・挨拶は手短にすまし、クライミングを。

川面左のルートから始めて、中央のハングルート、裏面のクラックルート、物好き3人組はドキドキのマルチモドキへ。各々、好きなタイミングで、好きなルートを、好きなスタイルで、時間いっぱいクライミングを楽しんだ。



<感想>

登り方を教えていただき、四苦八苦していたところを力をあまり使わずに 登れるようになり、嬉しかったです。いろいろな会の方とお話ししたり、ア ドバイスをいただいたりして、楽しく、有意義な一日でした。ありがとうご ざいました。 川端純子

ここの岩場は初めてです。すぐ横を保津川、清滝川が流れ、保津川下りのギャラリーがいて面白い所です。日頃会わない方とも交流できて刺激になりました。しかしせめて左側のルートをリードする、真ん中・右のルートをもっと落ちんとアカン、何を目指すのか考えんとなアと反省しました。対岸の岩場をチャレンジする3人にも羨望です。

あ~一日楽しかったです。 岩根 浩

クライミング ≪白嵓≫ 記:青山

日:11月5日(日) 晴れ

メンバー:内野(洛中)、林(らくなん)、青山(やましな)

帝釈前に石灰岩でロープクライミングを、という事で白嵓へ。

岩場に着いて、さぁ登り始めようと岩を見上げるとメインの壁に巨大な蜂の 巣が…、35L ザック位の大きさか…。

スズメバチ敗退ももったいないので、二段上の隅っこの隅っこで登ることに。 暖かくなってきてからは蜂も活発に動き出し、ビレイヤーの前を高速で行き来 する影に最初は「ちょっとココもヤバいかも」と登りながら話しをしていたけ ど、人を偵察する感じも威嚇する感じも全くなく、単にせっせと働く蜂達の通 り道になっているだけ、ということにしておいた。

そんなこんなで大人しくそれぞれの目標ルートにトライして、少し早い 15 時前には下山。河原にあるボルタ―へ向かったけれどアプローチ敗退で、車に 戻ると同時に大粒の雨が降り出した。白嵓メイン壁のクライミングは、女王蜂 を残して働いていたあの子達がその役目を終えた冬本番にでも!

〔講習会報告〕

田辺山友会からクライミング講習会の依頼があり、以下の通り実施しました。

講習内容:登攀道具について、ロープワークの基本、Trのビレイ、

終了点の構築、懸垂下降、他

講習日:6月17日 田辺山友会より 16人 クライミング委員 6人 10月22日 田辺山友会より 9人 クライミング委員 4人

【クライミング委員募集のお知らせ】

※クライミング委員会では、委員志望者を随時受け付けます。 希望される方は、各山岳会を通じてクライミング委員会までご連絡ください。 連絡先:kr_climb@yahoo.co.jp

※委員について

- ・登攀要素を含む山行(クライミング・沢登り・雪山など)を目指している方
- ・新特別基金5口以上、またはそれらに準ずる山岳保険に加入している方

〈交流会報告〉

2023 年度京都府勤労者山岳連盟交流会

記:吉野 あけみ

【交流会日時】 2023年10月14日(土)~15日(日)

【天 候】 14日…曇り、夜雨 15日…晴れ

【交流場所】 あうる京北(京都府立ゼミナールハウス)

電話 075-854-0216 京都市右京区京北下中町島谷

【担当者】 右京労山、樹の根17組、Lantan

【交流内容】

10月14日(土)	1日目
13:00~	受付開始
14:00~	講演会 講師:清水正氏(NPO 自然観察会代表理事)
15:20	演題「近郊の里山に見る生物多様性~京都・滋賀の山に
	咲<花~」
15:30~	ワールドカフェ(ワークショップ)
16:30	進行:高岩光さん(Lantan)
16:40	チェックイン(宿泊棟の別館へ)
17:30~	BBQ の食事会
19:30	進行:平田和子さん(樹の根17組)
19:30~	宿泊棟(別館)で自由時間(入浴・就寝準備、談話など)
10月15日(日)	2日目
6:00~	起床、身支度
8:00~9:00	朝食(大食堂)
9:00	チェックアウト
① 健脚コース	周山道の駅〜魚ヶ渕の吊り橋〜滝又の滝〜元細野小学校
(Lantan 担当)	
② ハイキングコース	山稜橋~江□橋~中野橋~掛尾峠~黒田発電所~山稜橋
(右京労山担当)	
③ ゆっくりコース	周山道の駅〜周山城址〜黒尾山〜魚ヶ渕〜周山道の駅
(樹の根17組)	
④ アスレチック	個人参加(事前申込)

【各山の会の参加者人数】

山の会名	宿泊人数	日帰り人数	山の会名	宿泊人数	日帰り人数
西山 HC	男1		樹の根17組	女4	講演2
田辺山友会	男1		右京労山	男5, 女9	
福知山山の会	男1, 女1	山行1	明峯労山	男2、女2	山行3
乙訓山の会	男1		やましな山の会	男1, 女2	講演3
左京労山	男1, 女2		洛南山の会	男7, 女2	
WAO 亀岡		講演4	伏見山の会	男1	講演2
Lantan	男2, 女2		洛中労山	男1	講演1
参加山の会	宿泊男性	宿泊女性	講演のみ参	山行のみ参加	
の数・・14	•••24	•••24	加•••12	• • • 4	

【交流会報告】

コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、以前の日常が戻りつつある中、久し振りに宿泊を伴う連盟の交流会が実施されました。担当者が数回ほど打ち合わせを行い、連盟の諸行事の1つとして皆さんが楽しく交流ができることを念頭に、交流会の準備をしました。

各会、参加者の方々は各自13時にあうる京北に到着し、役割のある人達は、 作業を開始しました。

1 4時から大ホールで清水先生の講演が始まりました。京都や滋賀の湿地や山に咲いているたくさんの花々をプレゼンしてもらいました。初めて聞く花の名前もいくつかありました。花に興味がある人達はうなずきながら聞いていました。

たくさんの花の名前を知っておられ、保護活動もされている清水先生に改めて感銘 しました。質疑応答も少しあり約束の時間が瞬く間に終わりました。

15時半から同じ大ホールで椅子を小グループにセットし、「ワールドカフェ」というワークショップを始めました。高岩さん(Lantan)が色々準備をされていて、進行の説明も分かりやすかったので、すぐに和気あいあいと、話が盛り上がりました。席替えが3回ほどあり、あっという間に1時間のワールドカフェが終わりました。話好きな人が多かったようで、楽しく交流ができました。もっと時間があったら良かったのにというご意見を聞きました。

夕方には雨が降って来そうなので心配でしたが、あうる京北のご厚意で BBQ を1

8時から17時半に早めてもらえました。やはり開始前に雨が降ってきましたが BBQ 会場は屋根付きなので安心です。少し男性には食品の量がもの足りなかったかもしれませんが、飲み放題で楽しんでもらえたようです。みんなでワイワイ盛り上がっている時に、各会の代表が挨拶をされました。さらに各テープル毎にも一言スピーチをしてもらい、みんなで和やかなひと時を過ごしていました。

19時半に食事会が終わり、宿泊棟の別館にみんなで移動しました。小雨ですがまだ雨が降っていました。明日の山行が出来るかどうか気になるところです。宿泊棟では就寝迄それぞれ自由に過ごしました。ロビーで2次会をしている人達、お風呂に入っている人達、布団に入っている人達、小グループで談話を楽しんでいる人達、久し振りの宿泊を伴う交流会を皆さんが楽しまれていたらいいのですが・・・

朝6時頃目を覚ますと、雨が上がっていて雲が切れていく様子が見られました。 京北の山々の山行ができそうです。朝食をしっかりとってからチェックアウトし、各 担当のコースに参加するメンバーが駐車場に集合、目的地に出発していきました

ずっと以前にこのゼミナールハウスで連盟の交流会がありました。その時は、朝からの雨で山行が中止になりました。今回は、それぞれのコースを楽しんで歩かれたようで一安心でした。

2023年度交流会収支報告

11/14

収入	
宿泊者(9500円×48人)	456,000
日帰り講演会参加者(1500円×13人)	19,500
計	475,500
支出	
講師謝礼	20,000
あうる京北	429,700
備品(領収書・ネームシール)	210
計	449,910
合計(収入一収支)	25,590

^{*}収支残高金は連盟へ納付します。

< 交流会山行・ハイキングコースの報告 >

【参加者】 安達(西山HC)、西村悦(乙訓)、

右京労山···CL 吉野、村田、松田、高木、近藤、村上、小林三橋、中村、西脇、西村佳、計13名

【コースタイム】

山稜橋 P (K1) (9:33) ~江□橋 (9:45) ~中野橋 (10:07) ~掛尾峠登山□ (K9) (10:20) ~掛尾峠 (10:35) ~下山□ (K13) (10:54) ~黒田発電所 (11:00~11:30) ~川稜橋 (12:36)

【山行報告】

お天気が心配でしたが、朝方には雨が上がり山行できることになりました。ハイキングコースは、名前の通り京北トレイル2の一部で、舗装道路や桂川の河川敷を歩くゆっくりコースです。ただ掛尾峠を越える山道の所は少しきついです。山稜橋の広い駐車場に車を置いて、標識 K1(黒田コース)から歩きました。江口橋から桂川沿いの河川敷歩きの所はススキがたくさん生えていました。狭い所は川に落ちないよう気を付けて歩きました。アケボノソウ、ムラサキケマンなどの花が見られました。

掛尾峠の登山口からの登り始めはきつい坂が続きましたが、今日初めての山道なので頑張って歩きました。峠のピーク(398m)に着きしばらく休憩していると「ヒルがいる」と声がしました。今頃でもヒルがいるのに驚きましたが、その後、別の人が、家に帰ったらヒルにさされていたという声も聞きました。

下山すると黒田発電所がありました。少し早めの昼食をそこでとり、ゆっくり休憩しました。今日のハイキングコースはここからピストンで戻ります。国道 477号線で戻るか、同じく掛尾峠を通って戻るかを多数決で決めてもらいまし

た。ほとんどの人が峠越で戻りたいと言われたので、同じ道のピストンで戻りました。帰りは何故か早くて、順調に歩いたので12時36分には山稜橋に着きました。往復7km、3時間のハイキングコースでした。ご協力有難うございました。

(記: 右京労山 吉野あけみ)



23京都連盟交流会 2日日 健脚コース報告(Lantan 高岩記) ●山行日:2023年10月15日 天候:晴れ 参加人数:19人

0 914

会 距離

04:02 11.1_{km} 510_m 398_m 1129_{kcal}

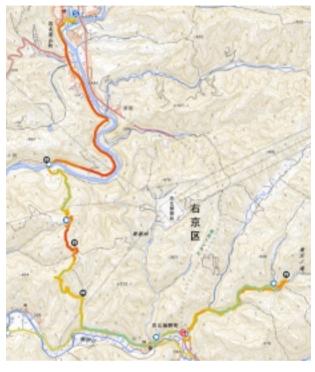
コース: 道の駅京北〜魚ヶ淵吊り橋・枝垂れ桜〜高間谷〜細野小学校〜滝又の 滝~滝又の石仏 P

総勢 19 名での健脚コース。予 想以上に人数が多く、当初の計 画は少し無謀かなと考え、安全 をみて短めのコースに変更いた しました。

前日の清水先生の講演もあった ので登山中もいろんな草木を見 ては「これはなんだあれだそれ だ」と各々に植物に関心をもっ た山行になりました。

高間谷、途中の沢沿いの林道で ー輪の"アケボノソウ"を見つ けたときは何人かの方がすごく 喜んでいらっしゃいまして、凛 と立ち、花びらに黒点があるの がすごくかわいくて「ラッキ ー!」って感じでした。





その後、滝又の滝までは別の沢沿い を登っていったのですが、その沢沿 いに途中から"アケボノソウ"が無 数に自生していて、さっきの一輪を 見つけたときはすごく感動したので すが、ちょっと残念な感じになって しまったのは私だけだったのでしょ うか。(勝手ですね~)

全行程距離的には 11 ㎞とまぁまぁ 良し!という感じなのですが、獲得 標高が 510m と少なかったため、健 脚コースを選んでいただいた方々に は物足りなかったかもしれません。 それでも全員が無事に下山できてホ ッとしました。

20231015

連盟交流会 (ゆっくりコース、黒尾山) 報告

15日、道の駅目指すころにはお天気に、当日参加の方をバス停で待ち、挨拶を済ませ出発。

(参加者12名) コースタイム:道の駅9:45~周山城址10:50~ 堀切11:20~黒尾山12:00昼食&集合写真12:30~林道下山13:20~魚が淵時間?~周山道の駅15:00頃

民家の間を抜け、山肌を縫うように登り行くと周山城址に着く、何も無い広場でした。しかし進行して行くと石垣跡や水取場や曲輪、堀切が有り頑強な城壁でぐるりと囲まれていた山城だったようです。 どんな栄華を誇ったのだろうか?ロマンです!

黒尾山へは植林地や自然林の間を縫って行く、片側切れ落ちた(崩壊?)細い道を通過、堀切に挑戦者もあり、岩尾根を通り大岩を回り込み進むと黒尾山へ到着、狭い山頂ですが片側の展望(南丹方面かな)山並みが素敵です。

昼食休憩後、集合写真を撮り下山開始、此処からの下りは時間にして15分位か、激下り!気を抜くと転げ落ちる位の斜面、注意して下りました。 苔むした下谷林道へ降り立つ、さわ蟹がチョロチョロウロウロ可愛い!踏まない様に抜き足歩き、痛そうなイバラの木を避け、鹿の骸骨等、色んな場面があり楽しい山歩きが出来ました。

林道を(此処から長かった!)弓削川沿いにテクテク歩いていると民家の 道路前にアケビが実って、一つ頂けば良かったな〜残念!!

紅葉にはまだ早い川沿いの景色を見ながら歩く。足も少しバラバラに成って来た頃千代橋分岐、先進組は渡り周山道の駅へ、後進組は渡らず周山道の駅まで行く、コース間違った~ごめんなさい、10分程の時間差で道の駅にて合流、ホッと胸を撫でおろしました。無事に終了。

道の駅で解散、それぞれの車に便乗,帰路に着きましたゆっくりコースと言えど意外と険しい下りもありましたが楽しい充実した時を過ごしてきました。お疲れ様でした。 記 平田和子 樹の根17組

黒尾山にて



京都府連盟登山道倒木整備 ―大文字山を整備しよう これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

安祥寺上寺跡左俣登山道の整備、順調に進んでいます。倒木整備は楽しいです。是 非、一度、参加してみて下さい。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得ています。

みんなで頑張って楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

雨天時等は安全のために整備を中止します。

★実施日:12月2日(土) 予備日12月6日 1月13日(土)1月14日(日)

12月3日(日)はやましな山の会の例会で行います。

1月から予備日は無しとします。

雨天予想の場合は前日の19時までに判断して中止のみ連絡します。

- ★申し込み締め切り:実施日前の月曜日
- ★集合場所: JR 山科駅改札口付近 9時00分 (9時には出発します)
- ★参加申込先:連盟登山道整備担当 青山郁夫

080-3797-4392 携帯メール 2382m. ikuo1025@ezweb. ne. jp

個々か会でまとめて申し込んで下さい。留守宅 (緊急連絡先) も教えて 下さい。

- ★参加条件: 労山基金を含め山岳保険加入者
- ★持ち物:カッパ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋(なければ軍手)、お茶、お弁当、救急薬品 ヘルメット(必携)、ノコギリ(なければお貸しします)、長靴(任意)、スパッツ、虫除けスプレー等
- ★共同装備:ロープ、ビニール紐、カラビナ、サムスプリント

★その他

- ・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
- ・木が 1/3 切れたら声を掛けること。1/3 でも突然、木が 切れ落ちることがあるので注意!
- ・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか 常に予想して退避方法を考えておくこと。
- ・まだまだコロナには注意が必要です。本人や同居家族で微 熱、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来に行って下さい。

京都府連盟~安祥寺上寺跡左俣 登山道倒木整備報告~

連盟登山道整備担当:青山郁夫

2023 年 11 月 4 日 (晴れ) 大文字山安祥寺上寺跡左俣登山道 やましな山の会: L 青山郁夫 池本光明 右京西村澄子 佐々木敏己 4 名 山科駅 8:48--9:19 林道入り口 9:25--9:47 伐採 16:03--16:53 山科駅

佐々木さん

今日は思ったよりはしんどかったです。木の状態で切り方を考えないと時間が かかることが分かりました。また頑張ります。

池本さん

今日はドラマみたいなことがありました。スリル満点で頭も体も使って難題を 解決していったような気がしました。自然は偉大であることを再認識しました。 倒木整備というのは充実した行為だといつも思っております。

西村さん

伐採作業は年々しんどくなって来ましたが続けてやりたいです。虫が多かったです。虫に好かれていました。

青山

西村さんが姿を消した時は目が点になりました。でも、ケガもなく良かった。

ヒヤリハット1件

N さんが倒木の据置き中に足を滑らして 2m 程下の谷に滑り落ちた。ケガ無し。

原因:作業に熱中して足元を良く見ていなかった。

対策:常に足元の安全を確認して作業をする。

京都府連盟~安祥寺上寺跡左俣 登山道倒木整備報告~

連盟登山道整備担当:青山郁夫

2023年11月5日(晴れ) 大文字山安祥寺上寺跡左俣右股合流点

やましな山の会: L 青山郁夫 青山久子

駐車場 8:53--9:32 伐採 14:39--15:15 駐車場

久々に参加者は2名。今回は6月17日に整備して切った枝を放置してあった 左俣右股の合流点の枝整理と斜面や谷に横たわる倒木の枝切りと谷の中に横たわ る倒木を切って搬送しました。

今年の3月3日から始めた安祥寺上寺跡左俣登山道の整備も中盤を迎えています。これまでの参加者は7労山72人。切った倒木は60本になりました。

まだまだ倒木は沢山あります。登山道倒木整備ってどんなことをするの?って 思われる方は是非一度参加してみて下さい。きっと心に残る想い出になると思い ます。お待ちしています。

久子さん

懸案だった左俣と右俣の合流点の倒木整備がやっとできました。次回は今回枝を切ったことで一段と低く下がった登山道の倒木の整備を是非ともやり遂げたいです。

郁夫さん

今回は二人だけで淋しかったです。でも、左俣右股合流点に放置してあった枝 が無くなってとてもすっきりしました。

会計からのお願い

日頃より連盟へのご協力ありがとうございます

さて、年度末もあと少しとなってきました

連盟費の納入がまだの会・クラブ等がございましたら、できる限り年内に入金 して頂きますようお願い申し上げます。よろしくお願いします。

ゆうちょの場合でしたら、一般○名 家族○名と 記載していただければ幸いです



2023年10月23日 会計 氏野博文

お問い合わせは 左記 QR コードから リンクを開いてメール作成画面へ おすすみください

振込先

ゆうちょ銀行01040-0-2724京都府勤労者山岳連盟銀行からの場合ゆうちょ銀行109支店当座2724

No.153 **飯縄山 1917**m

2009.11.16(金)~18(日)個人山行 18(日) 飯縄山西登山口より往復

昨日の戸隠山〜高妻山山行に続いて飯縄山へ登る。昨日は朝食で冷たい物ばかりを 摂ったので流石にお腹を壊してしまったっが、昨夜の戸隠 YH で暖まり、雪で濡れた 服も乾かした。今日は良いコンディションで登れそうだ。

- 16(金)自宅~長野道~上信越道·信濃町IC~戸隠牧場登山口P(車中泊)
- 17(土)登山口~戸隠神社奥社~戸隠山~高妻山~登山口(10h29)~戸隠 YH 泊

18日(日)

- O5:30 頃起床。昨日の山行で疲れている筈なのに、夜中に何度も目が覚めてあまり眠れていない。外は既に雪混じりの雨が降り出している。
- O7:00~朝食。今朝も YH とは思えない程の豪華な食事。ご飯をしっかり2杯食べ、 熱いそば茶を水筒に入れて出発。溝で鴨が水浴びをしていた。
- 07:39 西登山道登山口着。もっと先まで行きたいが、林道はゲートで閉ざされ通行禁止。路肩に駐車。雨は完全に雪に変わりどんどん降り積もって来た。
- O7:47 登山口発~暫く落葉松林の中を歩く。誰の足跡も無い。少し行くと左のルートから4人分の足跡が合流。心強い。これが「近道あり」のルートか?やがて林道と交差。幅2m 程の道は緩やかで落ち葉が敷き積り柔らかく歩き易い。
- O8:OO 頃萱の宮通過。小さな祠と鳥居がある。暫くすると下って来る4人と出会う。「これ以上は僕らには無理そうなんで…」との事。登山口から1時間余り、半分程で引き返すのは勿体無い気がするが…。これで先行者はいなくなった。この辺りから道が狭く急になり岩ゴロゴロとなる。既に3cm 程の積雪。踏み跡の無い新雪を踏んで歩く。いつしか細雪になり歩く度にキュッキュッと音がする。熊避け鈴を鳴らし乍ら1人行く。
- 09:10 南登山道との分岐点。ここにも小さな祠があり2人分の足跡が合流。心強い。
- O9:16 飯綱神社。ここのピークには文字の消えた柱が1本。何の標識も無い。2人の 足跡を辿って山頂へ向かう。
- 09:25 飯綱山山頂。雪が浸みて靴の左横が濡れて来た。流石に冷たい。
- 09:28 飯綱山山頂発〜長居は無用と下山を急ぐ。雪はどんどん降り続いている。下りはアイゼンが必要になるのか?
- O9:35 飯綱神社。避難小屋の様な堂内に入りそば茶を1杯飲む。熱い飲み物がありが たい。
- 09:35 飯綱神社発~幸い雪道は殆ど滑らずアイゼンを使わずに下れた。緩やかな稜線は小走りで下る。萱の宮辺りで雪は小止みとなり少し陽が射して来た。
- 10:29 登山口着。風邪をひかぬよう大急ぎで濡れたシャツを着替える。(2h39)
- 10:44 登山口発~「神告げ温泉」と言う施設が新しく出来たらしいが入浴する時間も無く帰宅を急ぐ。 戸隠一帯は一大観光地らしく次々と観光バスもやって来る。 IC

手前の道の駅で土 産を買い上信越道 に入る。

16:18 無事帰宅。思わぬ 雪で戸惑ったが、 その分雪景色を味 わい楽しめた。





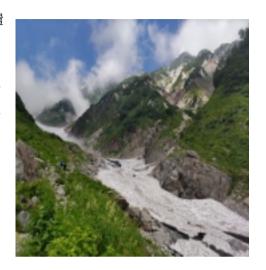
12 月号案内 表紙の写真 表紙の言葉 「痩せた大雪渓」

山下建男さん(右京労山)

今年の夏、8月のお盆に「猿蔵〜白馬岳〜白馬鑓ヶ岳〜白馬鑓温泉〜猿蔵」の夏山を楽しんできました。

猿倉から歩き始めて10年振りに「大雪渓を歩く」ワクワク感とドキドキ感で胸を膨らませて雪渓に目をやると昔のイメージと違った雪渓が飛び込んで来て「何、これ~」痩せ細った雪渓に驚きました。8月の末には「雪渓入山禁止」メッセージを SNSで知りました。

温暖化現象は北極や南極の氷だけで無く確実に日本の山にも大きな影響を与えています。



<スポーツ連盟からのお願いです>

スポーツ連盟で長年活動を継続してる会やクラブに対して表彰状と記念品が渡されます。該当する会は事務局に申請してください。

*ゴールド 30年以上 (1994年1月1日以前から)

*プラチナ 50年以上 (1974年1月1日以前から)

<お知らせ>

「提案 情報 投稿」原稿を募集しています。連載企画の内容でも OK です。 労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。 例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方な ど会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています

【投稿先】 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアト・レス hirossan-1954@nifty.com

*原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

*字体 MS明朝体 11P 余白 上、左、右 各20mm 下 23mm

2023年 京都府連盟 月間予定表

1	2	月(師 <mark>走・DEC</mark>)
1	金	
2	土	近ブロ 雪崩講習会 理論講習
9	П	近ブロ 雪崩講習会 ビーコン講習
3	日	ハイキング委員会公開ハイク・比叡山
4	月	自然保護委員会
5	火	事務局長会議
6	水	
7	木	
8	金	各会代表者会議(WEB 専用)
9	土	
10	日	冬山勉強会 アイゼントレ・金毘羅
11	月	常任理事会
12	火	
13	水	
14	木	冬山勉強会
14	//	机上:雪崩の危険性・行動判断
15	金	冬山連絡会
16	土	冬山勉強会 冬山テント泊・歩行訓練
17	日	冬山勉強会 木曽駒ヶ岳
		(うどんや峠コース)
18	月	京都労山印刷 ハイキング委員会
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	連盟事務所大掃除
24	日	
25	月	常任理事会
26	火	
27	水	女性委員会
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

	1 丿	月(霜月・ <mark>NOV</mark>)
1	月	元日
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	成人の日
9	火	常任理事会 自然保護委員会 事務局長会議
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	京都労山印刷 ハイキング委員会
16	火	
17	水	
18	木	冬山勉強会「冬山での確保法」
19	金	やまびこ利用日
20	土	
21	田	近畿ブロック雪崩講習会・大日岳
22	月	常任理事会
23	火	山の気象勉強会
24	水	女性委員会
25	木	
26	金	
27	土	冬山勉強会「初級冬山バリエーション」
28	日	積雪期搬出訓練(救助再構築準備会)
29	月	常任理事会
30	火	
31	水	